

さつま町内の20区公民館が取り組んで特色ある活動、イベントなどを紹介しています。

鶴田区はさつま町の市街地から北東へ約8 kmに位置し、北に緑豊かな国有林と南に鶴田合戦跡地として知られる田間田地区の水田地帯が広がっています。春は岩ツツジや川内川沿いの桜並木、夏には南方神社の六月灯、秋には彼岸花祭り、冬はグラウンドゴルフ大会や鬼火たきと年間を通じて様々な行事が行われています。また、農業面においても畜産をはじめ、米や葉たばこ、新ゴボウなど担い手を中心とした取り組みが行われています。



館長 岡村 兼利さん

◆人口 1,127人

◆世帯数 436世帯

◆公民会数 15公民会

地域活動



浦川内公民会では昨年度の地域活動支援事業の一つとして、集落内に案内板2基と道標4基を設置しました。道標は今後も鶴田区内で設置を予定しています。

イベント



大平公民会内の「遊来伝」では、毎年みどりの日の前後に、竹林を舞台に生け花やオブジェを飾りつけた屋外展示会が開催されます。

景勝地



城内公民会の上埜富雄さんの岩ツツジ園は春になると約5,000本のハヤトミツバツツジが見事な花を咲かせ、毎年県内外から多くの見物客が訪れます。

伝統芸能



鶴田大角公民会の「鷹踊り保存会」は、鶴田地区の伝統芸能として活動しています。記念行事などで勇壮な鷹踊りを披露しています。